

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>2年次に職業訓練を受け、初級または中級の卒業生のうち74.2%が起業や就職を何らかの形でしており、女性・青少年の生活向上及び経済的自立の促進という上位目標に対して成果が出ている。</p> <p>収入が増えたことで生活が改善したと感じる人や、家族に貢献できるようになり喜んでいる人が多かった。また、わずかな収入増加であっても、自信につながり今後、自分の店を大きくしていきたいと夢を膨らませている人もいた。ある縫製分野の卒業生は、ナーサイトン郡の自宅で開業し、現在平均で月収70万kip~80万kip(9000円~10,000円程度)を得ており、職業訓練校に通う前の無収入だった時期に比べ、自ら収入を生み出すことが可能となり、自身及び家庭全体の生活向上につながっている。</p> <p>また、収入増加額の大小に関わらず、各生徒は技術を習得したということで自信が生まれ、日々の暮らしにおいて生活向上のためのビジョンを現実的に持つ事ができるようになった。</p>
(2) 事業内容	<p>(イ) 縫製、理美容、調理の職業訓練を実施</p> <p>縫製、理美容、調理の3分野の職業訓練を2期実施した。1期につき初級2ヶ月、中級3ヶ月であり、第1年次から通算して第3、4期目の職業訓練となった。</p> <p>3期では、和食と理美容で日本人専門家を招聘し訓練を実施した。4期では、理美容のタイ人専門家と現地で活躍しているラオス人専門家（理美容、マッサージ、紳士服、ラオス菓子）による指導を行った。</p> <p>所外活動として行ったスタディーツアーでは、3期は全分野で一緒に実施したが、4期では各分野別に実施した。それにより各分野に合わせた訪問ができるようになり、より有意義なものとなった。上級コースの見学は各分野共通であるが、資機材購入先や卒業生の店を各分野で訪問した。また縫製分野では郡内の日系企業の縫製工場を見学した。</p> <p>理美容分野では3期、4期ともヘアカットボランティアを実施し、ナーサイトン郡の小学校で子どもたちにヘアカットサービスを提供した。</p> <p>(ロ) 起業、就業についての支援</p> <p>上級コースへの進学希望者には、OJTトレーニングセンターと連携を取り、3期生、4期生合わせて23名が進学した。就職を考えている生徒へは、郡内のレストラン1店とビエンチャン中心部の喫茶店1店、美容院1店からの求人情報を紹介した。また、縫製分野には当団体で実施しているミシン購入のためのローンを紹介した。</p> <p>(ハ) 職業訓練トレーナー養成</p> <p>ビエンチャン教育局職業訓練部に依頼し、3週間のTOT（トレ</p>

一ナー養成講座)を実施した。職業訓練に必要な成人教育に関する知識や技術を個人での課題やグループワークを通して修得するトレーニングである。ナーサイトン職業訓練センターのトレーナー4名を含む11名が受講した。

(二) 職業訓練センターの管理運営能力の強化

ナーサイトン郡教育課からのコーディネーターと協力し職業訓練センターの運営を実施した。特に生徒集めの広報に力を入れ、村事務所や軍駐屯地を訪問し協力を要請した。また市場などにポスターを掲示し、リーフレットを配布した。入学式や修了式は教育課内で実施し、スタディーツアーやヘアカットボランティアに教育課スタッフが同行し、事業の理解が深められた。

(ホ) 駐輪場の設置

1年次に建設した校舎の裏にオートバイ約60台収容可能な屋根付の駐輪場を設置した。これによりオートバイが雨や直射日光に晒されなくなり、盗難予防にもなっている。

(3) 達成された効果

成果(イ) 受講者数、卒業者数が増加

1年次より通算し、2年次は第3期及び第4期の訓練を実施した。2年次の卒業者数の目標及び実績は下記の通り

【初級】

卒業者数目標：120名 実績：132名 達成割合：110%

【中級】

卒業者数目標：96名 実績：110名 達成割合：115%

各分野別卒業者数は表の通り

	縫製	美容	調理	計
初級コース	43名	50名	39名	132名
中級コース	36名	45名	29名	110名

(*定員 初級：20名/期 中級：16名/期)

1年次は、初級コース・中級コースの卒業生はそれぞれ115名と95名であり、2年次の卒業生はそれぞれ132名と110名に増え、より多くの女性・青少年へ職業訓練の機会を提供することができた。

成果(ロ) カリキュラムを地域に即したものに改善

調理分野ではナーサイトン郡ではあまり売られていないが、ピエンチャン中心部ではよく売られている比較的売りやすいラオス風揚げパンを課題の一つに加えた。小さな屋台でも製造・販売ができ、材料も安くて簡単に手に入るため、生徒たちは地域の実情や、自分たちの生活・経済レベルに即した起業プランをより現実的に考えることが可能となった。

	<p>成果（ハ）卒業生の70%以上が起業、就業</p> <p>2年次に実施した3期生及び4期生の初級コースのみ、または初級及び中級コースを修了した卒業生に聞き取り調査を実施した。2年次の卒業生の就職状況は下記の通り。</p> <p>【起業・就業】</p> <p>上級コース進学：23名（17.4%） 訓練に関連する分野での起業・就業：58名（43.9%） 訓練に関連する分野以外での起業・就業：17名（12.9%） 無職・その他：34名（25.8%）</p> <p>1年を通し、上級コースに進学した23名を含む計98名（74.2%）が何らかの就職や起業をしており、70%以上が起業や就業を果たすという目標を達成した。</p> <p>成果（ニ）トレーナー資格取得</p> <p>ハンドオーバー後にナーサイトン職業訓練センターに勤務予定の4名を含む全参加者11名がトレーナー資格を取得した。同職業訓練センターでは、既にトレーナー資格を取得している2名と合わせて、各分野2名ずつ計6名全員のトレーナーが資格を取得済み。</p> <p>成果（ホ）ナーサイトン教育課による管理運営</p> <p>当団体と教育課が協力して事業を実施したことにより、ハンドオーバー後、教育課が職業訓練センターを管理運営するという意識は高くなってきており、半年毎に行う一連の流れ（生徒募集の広報、生徒選考、入学式、授業・行事、修了式）については理解できている。3年次でさらに運営能力を強化するため、協働ですすめていく。</p>
<p>（4）持続発展性</p>	<p>この事業はN連事業の3年次を実施後、校舎の管理及び訓練センターの運営はナーサイトン郡教育課に引き継がれる予定である。N連事業終了後も教育課が継続できるように3年次はこれまでの教材費の支援を終了し全額訓練生の負担となり、教材費の管理は教育課のコーディネーターが実施する予定である。</p> <p>光熱費の負担は、2年次では教育課と折半にしていたが、3年次は7：3と教育課の負担を増しオーナーシップを高めていく。また教育課の運営能力を高められるように支援していく。特に生徒の確保は訓練センター継続のために不可欠な要素なので、教育課が率先して実施するように促し、生徒募集時期には、村事務所、高校、軍駐屯地、卒業生との連携を強化していく。</p>